

シリコン屋根トツプ

水系シリコン屋根塗替え塗料

塗り替え対象屋根材

- ◎プレスセメント瓦・厚形スレート瓦
- ◎薄形化粧スレート瓦
- ◎波形スレート(ノンアスベストタイプは除く)
- ◎アスファルトシングル

注意：塗り替え対象屋根材以外に
使用しないで下さい。

アクア遮ネックスの発売に伴ない、
従来の「シリコンヤネトツプシーラー」は
「水性シーラー」として、名称変更させて
頂きました。使い方や成分に何ら変更
は御座いません。

特 長

①耐候性に優れています

高耐候のシリコン樹脂を使用し、内部のシロキサン結合により、耐久性を高め、各屋根材を長期に保護し、美しい外観を保ちます。

②防藻・防カビ効果付与

シリコン屋根トップは防藻・防カビ機能を付加させており、藻類、カビの育成による美観の低下や衛生面の悪化を長期にわたり、防止します。

③省資源低公害タイプです

水系常乾タイプなので、水で薄めるだけで、すぐに塗ることができ、臭いもほとんど無く安心して使用できる低公害塗料です。

④作業性に優れています

エアースプレー、エアレススプレー、ローラー塗り、刷毛塗りが可能で、比較的乾燥が早く、どなたにも簡単に塗装できます。

用 途

◎新・旧セメント瓦の塗り変え塗装

◎薄形化粧スレート(カラーベスト、コロニアル等)の塗り変え塗装
※カワラウ、ニューウェブ等一部の瓦には塗装できません。

◎波形スレート等の塗り変え塗装

※ノンアスベストへの御使用は、バックシールおよび両面の塗装の場合のみ可能となります。

◎アスファルトシングル等の塗り変え塗装

荷 姿

◎各	色	石油缶	15kg入り
	〃	小口缶	4kg入り
◎水性シーラー		石油缶	15kg入り
	〃	小口缶	4kg入り

塗装面積

	希釈率	塗布量	塗布面積	塗装間隔
水性 シーラー	-----	190~250g/m ²	60~80m ² /15kg	1時間以上 (20℃)
		140~150g/m ² カラー鋼板の場合	100~110m ² /15kg	
各 色	10~20%	2回塗りで 190~250g/m ²	2回塗りで 60~80m ² /15kg	1時間以上 (20℃)

Ⓜアスファルトシングルの場合は吸い込みが多い為、塗装面積は半減します。

塗装工程

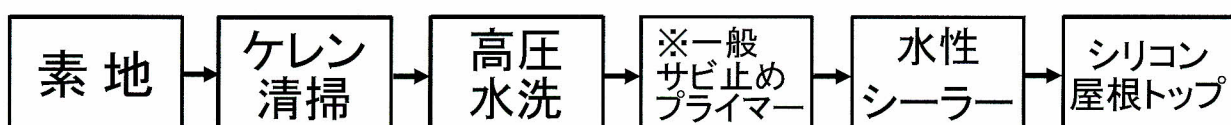
○プレスセメント瓦・波形スレート・カラーベスト・アスファルトシングル等の塗り替えの場合



○カラー鋼板(カラーベストの金属役物も同様)に錆のない場合



○カラー鋼板(カラーベストの金属役物も同様)に錆のある場合



※サビ止めプライマーは、ご使用される塗料の塗装仕様に従って施工して下さい。

金属に対する密着力

種類	ステンレス	鋼板	亜鉛板	ブリキ板	カラートタン
結果	◎	◎	◎	◎	◎

使用上の注意点

- ①被塗物表面が、雨や霜、露等で濡れている時は、十分に乾いてから塗装して下さい。
又、被塗物及被塗物の形状によっては乾燥が遅い箇所がありますのでご注意下さい。
濡れた状態で塗装すると、フクレ、ハガシの原因になります。
- ②ハケ、ローラーで銀黒色を塗装する場合、仕上がりが悪くなります。
- ③被塗物に付いているゴミ、ホコリ、苔等を十分にデッキブラシでケレンして下さい。
- ④被塗物表面が脆弱化している場合は、回転ブラシ、サンダー等で脆弱層を十分に除去して下さい。
- ⑤ケレン及び下地調整後は、必ず水洗して下さい。水洗後は十分に乾燥させて下さい。
- ⑥シリコン屋根トップは他の塗料と相容性がありませんので絶対に混合しないで下さい。
- ⑦エアレス塗装機及びホース内に残っているシンナー類は完全に除去し水洗いしてから、シリコン屋根トップを吸わせるようにして下さい。シンナーが残っているとゲル化しますのでご注意下さい。
- ⑧朝、夕の結露時期、被塗物が高温の時、降雪雨の予想される時は、塗装を避けて下さい。
- ⑨塗装後、24時間以内に気温が5℃以下になると予想される場合は塗装を避けて下さい。
- ⑩塗装ミストの飛散により周辺を汚しトラブルとなる事があります。塗装ミストが飛散しないように十分な養生を行って下さい。

※このカタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

安全衛生上の注意事項

『注意事項』下記の注意を守ってご使用下さい。

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5. よくフタをして、一定の場所に定めて貯蔵して下さい。
6. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い落して下さい。
9. 容器はつり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる時は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意して下さい。

取扱いまたは使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

TEL (06)6791-4031番(代表)

FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラー1番館102号

TEL (048)940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

取扱店